

京都府立大学考古学論集
- 考古学研究室 30 周年記念 -

目 次

刊行にあたって	i
例 言	ii
宮本常一と縄文文化 — 食の問題を中心に —	板垣優河 1
摂津地域の石庖丁 — 近畿における石庖丁生産・流通の再検討 (Ⅶ) —	仲原知之 13
弥生時代における銅鏡受容の地域差 — 山陽地域を中心に —	實盛良彦 25
北摂における庄内式土器の動態について — 猪名川東岸域を中心に —	陣内高志 37
加西市亀山古墳の埴輪生産	吉永健人 45
茨田屯倉と古墳時代中期の開発	笹栗 拓 55
葛野大堰をめぐる水縁空間と丹波の山林開発	古閑正浩 67
三豊平野における渡来系遺物に関する予察	
— 縁塚 10 号墳出土切子玉の紹介 —	丸本啓貴 81
加古川中流域における群集墳の基礎的研究	
— 加東市上三草古墳群の紹介を中心に —	藤原光平 89
赤坂天王山 1 号墳と赤坂天王山古墳群との関係について (覚書)	丹羽恵二 101
長門国における古代の地域開発 — 国秀遺跡の竪穴建物の検討から —	岩元亮祐 111
飛鳥寺塔心礎埋納品の考古学	諫早直人 123
藤原宮大垣の造営年代	新尺雅弘 137
中ノ子廃寺の研究	岸見泰宏 147
瓦生産からみた天平年間の造営に関する一考察	
— 恭仁宮を定点として —	溝口泰久 155
般若寺出土軒瓦の検討 — 正倉院文書中「大般若寺」との関連から —	平松良順 165
気比神宮寺覚え書き — 古代敦賀津と宗教空間のあり方を考える —	松葉竜司 177

伊豆国府について	近藤史昭	189
西摂北部地域における須恵器生産の展開と変容		
ー 編年の再検討を中心に ー	稲本悠一	199
亀岡市金生寺遺跡出土の瓦器椀にまつわる一考察	山本 梓	211
丹後府中出土貿易陶磁器の数量的検討	上井佐妃	217
中世・関の都市空間とその変遷	森島一貴	225
一乗谷朝倉氏遺跡出土の鉛地金について	川崎雄一郎	237
高野山における二つの藤堂家墓地		
ー 高室院文書と石造物の調査から ー	熊崎 司	243
琵琶湖の港が語る歴史		
ー 大津市堅田・守山市南部の湊の紹介 ー	北原 治	249
吉田璋也の暮らし ー 暮らしを彩った器物を中心に ー	東方あかね	261
殷の酒器と醴の祭祀	石谷 慎	275
後漢墓出土の金銅仏とその意義		
ー 考古学資料からみる2～3世紀の中国初期仏教 ー	黄 盼	289
敦煌莫高窟 285 窟西壁星宿図における日天・月天の戦車	大平理紗	301
中国中世の喪葬と仏教についての一考察		
ー 隋張盛墓の儀礼と信仰空間 ー	向井佑介	315
史跡御所山古墳隣接地の調査と史跡の保護	藤野好博	327
兵庫県内における胎土分析の整理（その1）		
ー 播磨平野と淡路島南部を対象に ー	野田優人	337
植物遺体からみた古代都城・都城周辺の植生景観		
ー 植物遺体分類群リスト ー	上中央子	351
反射・光沢のある文化財資料の三次元写真計測と3Dモデルの活用手法の検討		
	仲林篤史	357
多可町東山古墳群から古代地域社会の復原へ	菱田哲郎	363
執筆者一覧		376
奥 付		